

事務事業マネジメントシート(令和 5年度実績と令和 6年度計画)

令和 6年 8月26日更新

事務事業名		消防団活動支援事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	4	生活環境の健康			所属部	総務部	課長名	田代 純児
	施策	15	防災対策の推進			所属課	安全安心課	担当者名	宮尾 和樹
	施策の柱	49	災害応急対策			所属班	防災対策班	(内線)	1242
予算科目	会計一般	款 9	項 1	目 2	事業連番 10022	根拠法令	消防組織法、合志市消防団設置規則		
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 5年度で終了 <input type="checkbox"/> 5年度から開始					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 48 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	・消防団の活動に関する全ての事務を行う事業、主な事務は以下のとおりである。 ①消防団員の任免や団員の年報酬、災害時等の出動手当て、退職報奨金の支給事務。 ②消防団施設、資機材の整備に関する事務。 ③消防団員の被服の貸与に関する事務。 ④消防団の年間行事の計画立案、消防団幹部との調整、関係機関との調整事務、並びに行事や訓練等の開催に関する事務 ⑤各消防分団等への分団運営費補助金交付事務。
【業務の流れ】	・消防団長の決定、委嘱状交付 報酬、手当での取りまとめ、支払い 年間行事の企画、消防団幹部との調整、関係機関との調整、行事、訓練等の開催、費用弁償の支払い 消防資機材の購入、各分団に配備、支払い、団員の被服サイズの調整、購入、貸与、支払い
【主な予算費目】	・報酬、職員手当、報償費、旅費、需用費、役務費、負担金補助及び交付金
【意見や要望】	・特になし。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
① 手段(主な活動) 5年度実績(5年度に行った主な活動)(DO)	消防団(条例定数745人、実員596人)の運営に関する事務を円滑に行った。	6年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
	また、消防団管理システム内で消防団員の個別口座に報酬等を支給できるよう改修した、令和6年度からシステムからの支払い運用予定。	・新入団員辞令交付式 ・消防団施設、資機材等機材、被服等の整備。団員報酬、手当、退団員への退職報奨金の支払。 ・出初式等訓練および火災予防の広報パレード等の実施。
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 回	予算の主な増減の理由
→ イ 災害出動回数		令和6年度から10008消防協会参画事業、10011消防団育成事業、10012消防連絡協議会参画事業の統合による増
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等		② 対象指標(対象の大きさを表す指標) (単位)
・消防団員		→ ア 消防団員数 人
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		③ 成果指標(意図の達成度を表す指標) (単位)
・消防活動をしやすい環境にする		→ ア 消防活動がしやすいと思う幹部(分団長以上)の割合 %
*③成果指標設定の理由と6年度目標値設定の根拠		総トータルコスト全体計画 ~ 年度
消防団員が事故なく活動することが目的であるが、全団員にアンケートをとるのは、事務的に無理があるので、分団長以上のサンプル指標で全体を見ることとして設定した。		0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	3年度実績(決算)	4年度実績(決算)	5年度目標(当初予算)	5年度実績(決算)	6年度目標(当初予算)	7年度予定	8年度見込	9年度見込	
① 活動指標	ア 回		41	15	0	0	0	0	0	0	
	イ										
② 対象指標	ア 人		696	655	720	0	720	720	0	0	
	イ										
③ 成果指標	ア %		80	90	100	0	100	100	0	0	
	イ										
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円					35			
		繰入金	千円								
	人件費	一般財源	千円	45,567	56,548	61,815	59,001	80,818	80,761	80,761	80,761
		(A) 事業費計	千円	45,567	56,548	61,815	59,001	80,853	80,761	80,761	80,761
		(A)のうち指定経費	千円	33,139	45,224	48,103	45,434	52,974	48,000	48,000	48,000
		(A)のうち時間外、特数	千円	217	210	241	235	604	226	226	226
		正規職員従事人数	人	4	3	4	3	4	4	4	4
延べ業務時間	時間	370	170	240	640	240	240	240	240		
(B) 人件費計	千円	1,446	647	956	2,330	956	956	956	956		
トータルコスト(A)+(B)	千円	47,013	57,195	62,771	61,331	81,809	81,717	81,717	81,717		

事務事業名	消防団活動支援事業	所属部	総務部	所属課	安全安心課
-------	-----------	-----	-----	-----	-------

## 2 評価の部 (CHECK)

\*原則は5年度の事後評価、ただし複数年度事業は5年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	① 5年度目標達成度評価	<input type="checkbox"/> 達成した <input checked="" type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】 支援事業としての実務においては達成できたが、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う訓練の中止等で、団員の訓練が実施できなかったため。
	② 6年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 補助金等について、近隣市町とほぼ同等であり、団員が活動しやすい環境は維持できていると思われるので、達成できると思う。
有効性評価	③ 成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 コロナ禍での訓練が思うように行えなかった。コロナ禍での訓練のやり方を見出し、改善に努めていくものである。
	④ 類似事業との統廃合・連携の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 消防団員に対する育成、活動支援等含め非常備消防費を一括で管理を行っていく
効率性評価	⑤ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 消防団員への報償や活動に必要な経費であり削減の余地はない。
	⑥ 人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 主に消防団活動を支援していく事業であり、消防団活動及び行事等は土曜・日曜になるので、現状として消防団の協力は難しく、削減できない。
公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 市民の生命、財産を守る消防団の活動のための支出であり、公平である。
役割分担評価	⑧ 行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 消防組織法により、市町村が消防団を設置しなければならないため。

## 3 評価結果の総括 (CHECK)

新入団員34名に辞令交付、退団者69名に退職報償金の支給を行った。また、団員655名の福利厚生事務を行った。各分団に分団運営費補助金の支出、団員に出勤手当を支払った。新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、操法大会や各種大規模訓練が中止となったが、火災予防活動や個別での小規模訓練を企画・実施した。消防団員出動となった建物火災等は、多くの団員が出動し、水利確保、消火活動を行った。

## 4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策																						